





# モシモランド

## もしも...のおはなし

原案／川島二郎・岩永宏子

演出／あさのゆみこ

音楽監修／曲尾 友克

制作／矢野ひとみ

おはなし「まくらくん参上」より



もしも...

### 演出にあたって

小さい頃、みんなが知っている物語の、ごっこ遊びをよくしました。決まって途中からまったく別の話になり、大笑して終わり。いつの間にか「もしも」の話になっていました。

「もしも」それは想像力。答えは一つじゃない。

そんな思いを込めて、この作品を創りました。

演出・あさのゆみこ

### お芝居をつくるにあたって

みんなが知ってる おはなしが もしもちょっと違っていたら・・・

いろいろな おはなしのもしもを考えてみました。

桃太郎 うさぎとかめ アリとキリギリス  
もともある話をちょっと変えて考えるのは なかなか難しい作業でした。しかしあるヘンゼルとグレーテルの本に“貧しくて親が飢えて死ぬことよりも、子どもを森に捨てに行くということは、悲しい話だけよくありました”と書かれているのを読み、それならば森には子どもがたくさんいるんじゃないか と考えました。もしも森に子どもがたくさんいたら・・・

さてさてどんな話になるのか？

モシモランドでお待ちしております。

川島二郎



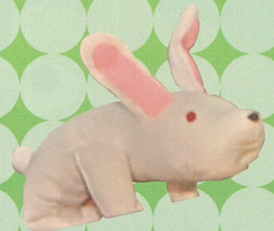
ヘンゼル  
と  
グレーテル  
が...?

「まくらくん参上」は、家の中まで聞こえて来るほどの親子喧嘩を頻繁にしている近所の親子に思いを寄せて書きました。子どもを叱っている親と、泣きながらそれに対抗する子ども。子どもも親が大好きなのに家庭が楽しくない場所になってないかなと、勝手に想像しました。心当たりのある方にも、そうじゃない方にも、これを観て少しでも、ほっと息をついてもらえると、嬉しいです。

岩永宏子



もしも...うさぎとかめか...?



 劇団 風の子九州  
KAZENOKO-KYUSHU Theatre Company

〒814-0002 福岡市早良区西新5丁目5-13  
☎092-841-7889(代) FAX092-841-7896  
<https://www.kazenoko-kyushu.com>  
E-mail : [info@kazenoko-kyushu.or.jp](mailto:info@kazenoko-kyushu.or.jp)

### < 劇団紹介 >

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠地を置く児童青少年演劇の専門職業集団です。“子どものいるところ、どこへでもとんでいく”を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島での公演をしています。90年からは国内だけではなく、韓国、中国、インドネシア、パキスタン、インド、シンガポール、オーストラリア、カナダ、アメリカなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人たちとの交流を深めてきています。2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演作品『マンナム～出会い』を創り上演してきました。アステジ（国際児童青少年演劇協会）の「国際フェスティバル in ソウル」では日本代表としても参加しました。これから地域で、“子どもたちと共に未来を創る劇団”として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。